

ARM上のWindows 11のセキュアエンドポイントサポートの有効化

内容

はじめに

このドキュメントでは、Cisco Secure Endpoint WindowsコネクタのWindows on ARMプロセッサアーキテクチャのサポートについて説明します。

サポートされるOS

このコネクタは、Windows 11以降でARMアーキテクチャをサポートしています。ARMは、Windowsコネクタバージョン8.4.1.x以降でサポートされる予定です。7.xコネクタバージョンでは使用できません。Cisco Secure Clientを使用したWindows ARMデバイスへのセキュアエンドポイントWindowsコネクタの導入は、現在サポートされていません。

サポートされるコネクタリリース

ARMは、Windows Connectorリリース8.4.1.30307でサポートされるようになりました。[ここ](#)にあるリリースノートを参照してください。

サポートされる機能とエンジン

次のコネクタ機能は、ARMベースのWindowsエンドポイントでサポートされています。

- 動作の保護
- スクリプト保護
- 精子
- エソス
- ネットワークフローモニタ
- テトラ
- ファイルとプロセスのスキャン
- 軌道

サポートされていない機能とエンジン

次のコネクタ機能は、現在ARMベースのWindowsエンドポイントではサポートされていません。

- エンドポイントの分離
- ホストファイアウォール

- TETRAルートキットスキャナ
- デバイス制御
- 悪意のあるアクティビティの保護
- 不正利用の防止
- エンドポイントIOCスキャナ

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。